

平成28年度事業報告

1 事業実施の成果

- (1) 遠隔医療の技術を活用して、社会的弱者(外国人患者・ろう者)が適切に医療を受けられるための基礎講座や、医療通訳の支援について講義をした。遠隔医療通訳について参加者の理解を深められた。

日時：平成28年6月18日

場所：東京夢の島マリーナ

従事者：3名

参加者：60名



- (2) 国際モダンホスピタルショーにおいて、外国人患者を受け入れる国際病院を目指す医療機関・医療従事者にセミナーを行ない、参加者の理解を深められた。

日時：平成28年7月15日

場所：東京ビッグサイト

従事者：3名

参加者：70名



- (3) 言葉の壁を持つ外国人やろう者の方も医療を適切に受けられるために、医療通訳の必要性和遠隔医療通訳のセミナーを行った。セミナーには、聴覚障がい者の方も参加されており、医療通訳の必要性を再確認されていた。

日時：平成28年9月24日
 場所：早稲田大学本庄キャンパス内リサーチパーク
 従事者：3名
 参加者：25名



- (4) 医療通訳は、医療の専門用語が多く、適切な通訳をするために、医療の基礎的な知識も必要である。このことから、IT技術を活用したWEBセミナーを行い、受講者が自宅から参加できるので、日本だけではなく世界各国からの参加者があり、WEBセミナーの重要性・有効性を確認できた。

日時：平成28年11月19日	参加者：49名	内容：バーチャルホスピタル
平成28年11月26日	参加者：39名	内容：基礎医学講義 循環器
平成28年12月3日	参加者：30名	内容：バーチャル診療（現場実習）
平成28年12月10日	参加者：34名	内容：基礎医学講義 整形外科

場所：WEB上の会議室

従事者：2名

参加申込者：80名

参加国：日本、アメリカ、オーストラリア、ルーマニア、シンガポール

受講者翻訳言語：英語、中国語、スペイン語、韓国語、ロシア語、タガログ語、ラオス語、カンボジア語、フランス語、ネパール語、インドネシア語、ラオス語



- (5) 外国人患者受け入れ医療機関認証制度受審のための準備セミナーを行った。

日時：平成29年3月21日・22日

場所：北海道大学病院

従事者：1名

参加者：病院職員20名